



にししょう

# 西小だより



HPはこちら→

「強く 正しく 健やかに」令和6年 1月10日(水) 第14号 校長 都外川 潔  
今年度は学校創立150周年。そして、コミュニティスクール1年目です。

## 令和6年のスタート

新年を迎え、子どもたちも新たな心で登校してきていることが、その表情から伝わってきました。中には、「あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします！」と、新年のあいさつをしてくれる子もいて、とてもうれしく思いました。

全国的には、新年早々に能登半島地震や航空機事故などの災難が続いています。被災された地域の皆様に心安らかな日々が戻りますよう、心から願うばかりです。

## 感謝の心

始業式では、次のような話をしました。  
「私が子どもの頃によく見ていた『大草原の小さな家』というアメリカのテレビドラマがあります。原野を開拓して、家族が協力して力強く生きていく様子を描いたドラマです。その中で、私がとても印象に残った場面があります。家族が暮らす家も父さんが作っていたのですが、子どもたちが寝る場所には、最初は窓がついていませんでした。ある日、父さんが町でガラスを手に入れて、子どもたちの部屋に、窓をつけました。すると、子どもたちは、『すごい！部屋の中から外が見えるよ！』と大喜びしたのです。それまで、私は、ガラス窓のことなど気にもとめていなかったのですが、その場面を見て、『そうか、ガラス窓があって、部屋の中から外が見えるということは、素晴らしいことなんだな。』と気がついたことを覚えています。

私たちの暮らしは、多くの人たちの努力と協力で成り立っています。鉛筆1本、消しゴム1個だつて、自分一人で作り出すことはできません。当たり前と思っていることは、実は当たり前ではないのです。日々の暮らしに感謝の気持ちを持ち、周りの人と協力して過ごしていきましょう。」

## 交通事故の防止を！

私は、毎朝西小校門前の横断歩道で子どもたちの見守りをしていますが、今年度は特に「危ない！」と叫んでしまうことが多くあります。それは、右の図のように、登校中の児童が、前の人を追い越そうとして、ガードレールの無いところで、車道にとび出してしまうことがあるからです。その場で注意したり、何度も校内放送で呼びかけたりしていますが、なかなかとび出しが減りません…。

このままでは、大事故が起こる危険があります。このことについてご家庭でも話題にさせていただきますようお願いいたします。

子どもたちの命を、ともに協力して守っていきましょう。

